

令和5年度

家庭学習の手引き

～進んで学ぶ子どもを育てるために～



家庭学習で「学ぶ力」を育てましょう

小学校の学習は、子どもたちが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校で子どもたちの学力向上に取り組んでいくと同時に、学校と家庭が連携することで、学習内容がより確かに定着し、学力が一層伸びていきます。この「家庭学習の手引き」をお子さまと一緒にご覧いただき、家庭学習の手助けとしてご活用いただければ幸いです。

柏市立高田小学校

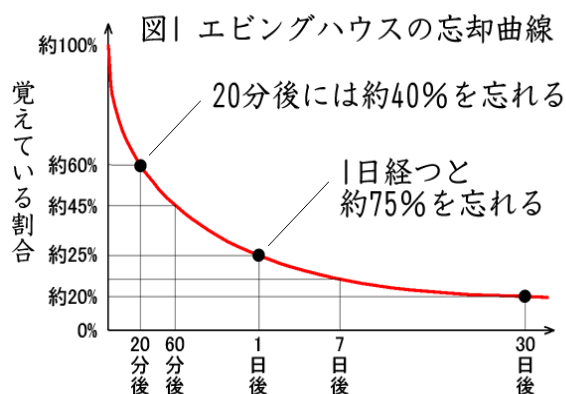
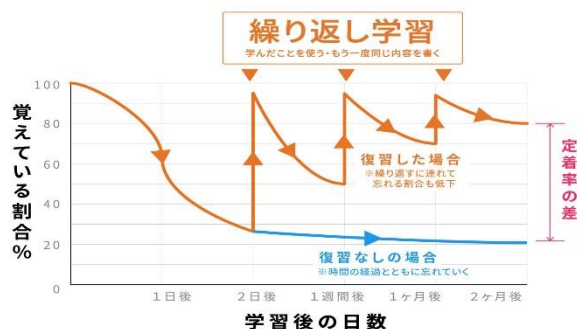
1 家庭学習の意識

家庭学習がなぜ必要なのでしょう。家庭学習によって、次のような教育効果が期待できます。

①学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。宿題を必ずやり、時間が合ったら自主学習を行うことで、学校で「わかった」ことが、家庭での反復学習によって「できる」という自信に変わります。

エビングハウスの忘却曲線（脳の忘れるしくみ）より



②脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化に繋がると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に動くようになります。鍛えれば鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことに上手く使えるようになります。小学生のうちから、どんどん鍛えていきましょう。

③学ぶ習慣をつける

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身に付きます。毎日続けることで、やがて当たり前の習慣になります。少しずつでも継続することが大きな力につながります。低学年のうちから、毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。

④がまん強さ・根気・集中力をつける

家庭学習の最大の敵は、テレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ・根気・集中力を養うことができます。テレビやゲームの時間を決めて、学習や読書に時間をしっかりと確保したいものです。

⑤家族のふれあい

「本を読んでいるとき、横で聞いてあげる」「勉強がわからないとき、教えたり一緒に調べたりしてあげる」など、家庭学習をしている子どもに親が関わることにより、コミュニケーションを図ることができます。家族のふれあいの機会が増えることは、子どもの精神の安

定にもつながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

2 家庭学習のポイント

家庭学習のやり方次第で、効果がグンと上がります。いくつかのポイントをあげておきますので、参考にしてください。

①決まった時間に毎日コツコツと行う

家庭学習は毎日続けることが大切です。習い事やお出かけ等で予定を組みにくい日もあると思います。そんなときは、先に済ませるとか、テレビやゲームの時間を少なくするなどの工夫も必要になってきます。家庭で十分話し合い、実践してください。

②集中して学習する

学力を伸ばすためには、集中して学習に取り組むことが大切です。長時間学習することで成績が上がるとは言えません。短時間でも集中して勉強することが長続きのコツです。学年×10分を目安にして、集中して頑張ることを心がけてください。

③家庭学習をしているときはテレビを消す

テレビを見ながら、おやつを食べながらの「ながら勉強」は効果が上がりません。また、見たいテレビの音が聞こえるような環境も、子どもは集中できません。静かに集中できる環境を作ることが大切です。

④整頓された場所で、良い姿勢で学習する

整頓された机に向かって、良い姿勢で学習するようにしましょう。漫画やゲームなど、気が散るものが近くにあると集中できません。落ち着いて学習できる環境づくりを心がけましょう。

⑤子どもの頑張りを認め、褒めて励ます

親や教師が子どもの頑張りを認め、ほめたり励ましたりすることにより自信がつき、進んで学習しよう！という意欲が高まります。強制したり、間違いをきつく叱ったりすることは逆効果になります。

「よくやったね！」「頑張ったね！」「続けることで力がついてきたね」「目標を達成できたね」「明日も頑張れるといいね」「言われなくても、自分から学習できることは素晴らしいことだね」etc.

⑥学力アップは規則正しい生活から

「早寝・早起き・朝ご飯」は、生活リズムの基本です。生活リズムを整えることが学力向上にもつながります。学校でも家庭でも、生き生きと学習に取り組めるよう、規則正しい生活を送りましょう。

かていがくしゅうのてびき

たかたしょうがっこう
1ねんせい

やくそく

- ☆ きまったじかんにやりましょう
- ☆ テレビをけしましょう

べんきょうじかんのめやす
10ぷん

しゅくだい

- ☆ おんどく（こえにだして よみましょう）
- ☆ ひらがな・かたかな・かんじ（かきじゅんにきをつけて）
- ☆ さんすうのもんだい（どりる・ぷりんと・きょうかしょ）など

1ねんせいでは こんなことが できるようにしよう

- おおきなこえで ほんが よめる
- ひらがな・かたかなが よめる かける
- ならった かんじを よめる かける
- えんぴつを ただしくもって じが かける
- じゅんじょよく はなせる かける
- 「は」「を」「へ」を ただしくつかって ぶんが かける
- たしざん・ひきざんが できる



しゅくだいのほかに こんなことも してみよう

- どくしょを する（よんでもらう）
- きょうかしょを うつす
- どりるを する（けいさん・かんじなど）
- えにっきや にっきを かく
- いきものや くさばなを かんさつする
- とけいを みて じかんを いう
- いえのてつだいを する
- あした がっこうでべんきょうするところを みる

- しゅくだいは おわりましたか？
- あしたのじかんわりをそろえましたか
- もういちど たしかめましょう

かていがくしゅうのてびき

高田小学校
2年生

やくそく

- ☆ きまったじかんにやりましょう
- ☆ テレビをけしましょう

べんきょうじかんのめやす
20ぷん

しゅくだい

- ☆ 音どく（こえにだして よみましょう）
- ☆ かん字（よく見て 正しいかきじゅん）
- ☆ さんすうのもんだい（ドリル・プリント・教科書）など

2年生では こんなことが できるようにしよう

- 大きなこえて 本がよめる
- 「、」「。」に気をつけて すらすらよめる
- ならったかん字を 正しくよめる かける
- じゅんじょよく 話せる かける
- たしざん・ひきざんが 正しくできる
- かけざん九九が すらすらいえる
- じょうぎをつかって じょうずにせんがひける
- きめられた長さのちよくせんがひける

しゅくだいのほかに こんなことも してみよう

- どくしょを する（よんでもらう むかしばなしをしてもいいですね）
- きょうかしょを うつす
- ひっさんなどのドリルをする
- かけざん九九をおぼえる
- △や□をしらべる
- にっきを書く
- 家の手つだいをする
- 生きものや草花をかんさつする
- じてんや図かんでしらべる
- あした学校でべんきょうするところを見る（きょうかしょ）

- しゅくだいは おわりましたか？
- あしたのじかんわりをそろえましたか
- もういちど たしかめましょう

家でい学習の手びき

高田小学校
3年生

やくそく

- ◎目標を立てて取り組みましょう
- ☆毎日決めた時間につくえに向かいましょう
- ☆1日の家庭学習の時間を決めましょう
- ☆テレビや音楽をけして勉強しましょう

学習時間の目安
30分

しゅくだい

- ☆ 国語の音読（学習しているところを読む）
- ☆ かん字練習（習ったかん字を練習しよう）
- ☆ 算数のもんだい（ドリル・プリント・教科書）など

3年生では こんなことが できるようにしよう

- 音読がしゅうかんになる（気持ちを込めて読む）
- 習った漢字を正しく読める 書ける
- 国語じてんを正しく使える
- みじかい詩やことわざをおぼえる
- しゅ語としゅつ語がわかって 文を書くことができる
- わり算ができる コンパスを正しく使うことができる
- はかりを使って 重さが読める
- いろいろな三角形のちがいがわかる
- 地図の見かたと地図記号がわかる
- ローマ字が読める パソコンが使える ローマ字打ちができる

しゅくだいのほかに こんなことも してみよう

- 今日学校で勉強したところを読む
- 読書をする（はいくなども読んでみましょう）
- まちがったもんだいや、わからなかったもんだいをやりなおす
- 教科書をよく見ていねいに写す ○作文や日記を書く
- じてんや図かん、パソコンでしらべる
- いろいろな図形をかく
- いろいろなドリルに取り組む
- 生き物や草花の観察をする ○家の手つだいをする
- リコーダーの練習をする ○キーボー島の練習をする

○しゅくだいは おわりましたか？
○あしたのじかんわりをそろえましたか
○もういちど たしかめましょう

家庭学習の手引き

高田小学校
4年生

やくそく

- ◎目標を立てて取り組みましょう
- ☆毎日決めた時間に机に向かいましょう
- ☆1日の家庭学習の時間を決めましょう
- ☆テレビや音楽を消して勉強しましょう

学習時間の目安
40分

宿題

- ☆国語の音読（学習しているところを読む）
- ☆漢字練習（習った漢字を練習しよう）
- ☆算数の問題（ドリル・プリント・教科書）など

4年生ではこんなことができるようにしよう

- 音読のしゅうかんが身につく 気持ちを込めて読む
- 習った漢字を正しく読める 書ける
- 国語じてん 漢字のじてんを正しく使える
- みじかい詩やことわざをおぼえる
- ことばのつながりを考えて 文章を書くことができる
- わり算の筆算ができる
- 平行四辺形や台形の特ちょうがわかる
- 分度器を正しく使うことができる
- 47都道府県の名前と位置がわかる
- パソコンでローマ字入力ができる

宿題のほかにこんなこともしてみよう

- 学校で習ったことを復習する
- いろいろなドリルに取り組む
- まちがった問題やわからなかった問題をやり直して確かなものにする
- 読書をする（はいくなどを読んでもいいでしょう）
- 教科書をよく見て写す
- 百人一首や詩をあんしょうする
- 作文や日記を書く
- 読書の感想を書く
- じてんや図かんやパソコンで調べる
- 生き物や植物の観察をする
- いろいろな図形をかく
- 家の手伝いをする
- 明日学校で勉強するところを予習する

- 宿題は 終わりましたか？
- 明日の時間割をそろえましたか
- もう一度 たしかめましょう

家庭学習の手引き

高田小学校
5年生

やくそく

- ◎目標を立てて取り組みましょう
- ☆毎日決めた時間に机に向かいましょう
- ☆1日の家庭学習の時間を決めましょう
- ☆テレビや音楽を消して勉強しましょう

学習時間の目安
50分

宿題

- ☆ 国語の音読（学習しているところを読む）
- ☆ 漢字練習（習った漢字を練習しよう）
- ☆ 算数の問題（ドリル・プリント・教科書）など

5年生では こんなことが できるようにしよう

- 音読の習かんが身につく 気持ちを込めて 間を考えて読む
- 学習した漢字・熟語の読み書きができる ○古典を読むことができる
- 国語辞典 漢字辞典を使って調べることができる
- 日記を書いたり 調べたことを文章にまとめたりできる
- 分母の異なる分数のたし算・ひき算ができる
- 割合・百分率を使った問題を解くことができる
- 小数のかけ算・わり算ができる ○気候にあった生活の工夫がわかる
- 47都道府県の名前と位置がわかる
- 日本とつながりの深い国の名前と位置がわかる
- ソコンを使って必要な情報を見つけることができる

宿題のほかに こんなことも してみよう

- 読書をする 漢詩やを漢文を音読してみよう
- まちがった問題やわからなかった問題をやり直してたしかなものにする
- 教科書をよく見て写す ○百人一首や詩を暗しようする
- 作文や日記を書く ○読書の感想を書く
- 辞典や図かんやパソコンで調べる ○学校で習ったことの復習をする
- いろいろなドリルに取り組む
- ニュースや新聞を見て内容を文章にまとめる
- 生き物や植物の観察をする ○家の手伝いをする
- 明日学校で勉強するところを予習する

- 宿題は 終わりましたか？
- 明日の時間割をそろえましたか
- もう一度 確かめましょう

家庭学習の手引き

高田小学校
6年生

やくそく

- ◎目標を立てて取り組みましょう
- ☆毎日決めた時間に机に向かいましょう
- ☆1日の家庭学習の時間を決めましょう
- ☆テレビや音楽を消して勉強しましょう

学習時間の目安
60分

宿題

- ☆ 国語の音読（学習しているところを読む）
- ☆ 漢字練習（習った漢字を練習しよう）
- ☆ 算数の問題（ドリル・プリント・教科書）など

6年生では こんなことが できるようにしよう

- 音読の習慣が身につく 内容をおさえながら読む
- 学習した漢字・熟語の読み書きができる
- 国語辞典 漢字辞典を使って調べることができる
- 日記を書いたり 調べたことを文章にまとめたりできる
- 古文を読むことができる ○帯分数のたし算・ひき算ができる
- 分数のかけ算・わり算ができる ○拡大や縮小の意味がわかる
- XやYを使った式をかくことができる
- 歴史上の人物や出来事について説明することができる
- 理科の実験からわかったことを理由をつけて説明することができる
- パソコンを使って必要な情報を見つけることができる

宿題のほかに こんなことも してみよう

- 学校でやったことの復習をする
- いろいろなドリルをやってみる
- まちがった問題やわからなかった問題をやり直して確かなものにする
- 読書をする（漢文など音読してみよう）
- 教科書をよく見て写す
- 百人一首や詩を暗唱する
- 作文や日記を書く
- 読書の感想を書く
- 辞典や図かんやパソコンで調べる
- ニュースや新聞を見て内容を文章にまとめる
- 生き物や植物の観察をする
- 家の手伝いをする
- 明日学校で勉強するところを予習する

○宿題は 終わりましたか？ ○明日の時間割をそろえましたか
○もう一度 確かめましょう

高田小学校 音読のすすめ

①音読を文章理解の中心に据え、家庭でも音読練習に取り組ませましょう

- ・文章の読解を目指した学習でも、音読でつまずいては満足な読解はできません。音読練習を中心に据えて家庭学習に取り組むよう、音読カードの活用を図っています。ぜひご家庭でも音読練習に取り組んでください。
- ・国語以外の教科でも、音読をさせることで、題意を捉える力や論理的な思考力も高まります。ぜひ取り組ませてください。

②毎日聞いてあげましょう

- ・音読を上手にするコツは、毎日聞いてあげることです。少しずつでも継続して音読に取り組むことで、確実に上達します。少しでも時間を取って必ず聞くようにしてください。

③声を変えて読ませてみましょう

- ・音読を効率よく上達させるには、工夫が必要です。声の出し方を工夫して読むことで、筆者の考えや登場人物の気持ちを考えられるようになり、読解力との相乗効果も期待できます。まずは大きな声ではっきりと文を読ませてください。大きな声で読めるようになったら、ぜひ工夫させてみてください。

④褒め言葉をかけたり、アドバイスをしたりして評価してあげましょう

- ・上手に読めたところや上達したところなど、どんなに小さな点でもほめてあげることで、音読に対する意欲が向上します。観点をはっきりさせて評価することも大切です。また、音読カードのチェックは、必ず聞いてあげた人が行い、振り返りをさせてください。

⑤何度も繰り返し音読させてみましょう

- ・繰り返し読むことで、言葉や文章が頭に入り、語彙力が向上します。また、記憶力も向上します。慣れてきたら、暗唱まで高めていけるといいですね。

音読の効果 1：文章への理解が深まる

音読の効果 2：脳が活性化されて記憶力がアップする

音読の効果 3：コミュニケーション能力が鍛えられる

音読の効果 4：集中力が高まる

音読の効果 5：黙読も速くなる



音読の効果をもつめるために親ができる工夫

①親は手を止めて音読を聞く

小学生が音読の宿題をしているとき、親も忙しく家事をしながら聞いてしまうことも多いのではないのでしょうか。しかし、音読の効果をさらに高めるには、一度手を止めて「私はあなたの音読を聞いているよ」という姿勢を見せることが大切です。

親が「ながら聞き」ではなく、正面から自分の音読を聞িয়েくれることで、子どもの集中力もさらに高まり音読の効果もアップします。

②すらすら読めなくても怒らない

子どもが音読をしているときに間違えると「違うよ、〇〇だよ」「つかえないで読んで」などつい指摘してしまう方もいらっしゃるかと思います。子どもは読み手を意識することで集中力が高まりますが、失敗を恐れすぎると萎縮してしまいます。

子どもがつまっていたら最低限のフォローはしながらも、基本的には怒らず温かく見守ることでさらに子どもは音読をのびのびと楽しむことができ、効果も高められます。

③音読した内容について質問をする

音読の効果をさらに高めるには、音読が終わったあとすぐにその内容について質問するといいいでしょう。

「〇〇（登場人物）はそのときどんな気持ちだったのかな？」など、物語の内容に関することはもちろん、その他にも「あの〇〇のセリフで声を小さくしたのはなぜ？」など、子どもの音読方法について具体的に質問するのもよいでしょう。

音読した内容について質問することで、子どもが文章を理解しているかどうか把握でき、一緒に内容を考えることで読解力も高まります。そして抑揚などの朗読方法についても質問をすることで、音読スキルもアップします。

